

# 利用者の皆様からいただいたご要望について

(主なものを一部抜粋) 2023年11月時点

○便座が濡れたり汚れていると気になるため、除菌シートがあるとよい。

特に女性用トイレ。

→各個室に除菌シートを設置しました。

その後、メイン棟では除菌スプレーを設置しました。

○車いす用浴室浴室とシャワールームに、シャンプー、ボディーソープのボトルを置くた

めの台があったほうが使いやすい。また、シャワールームにはシャワーチェア、脱衣

所には簡易でもいいのでベッドがあると、衣服の着脱がしやすくなる。

→シャワールームにシャワーチェアと着脱衣のための長椅子を設置しました。

○スリッパのままでトイレにも、宿泊室にも入るのをどうにかしてほしい。

→トイレの前にすのことトイレ用のスリッパを設置しました。

○歯ブラシと歯磨き粉を置いてほしい。

→ホテルや旅館ではないため、歯ブラシと歯磨き粉は持参していただくことにしていますが、ご持参されなかった方のために1つ30円で販売することにしました。

○食堂の食事は、おかわりができるサービスがあるともっと良くなると思う。

→ご飯と味噌汁のおかわりはできるようにしています。

○女性のおふろの脱衣所にマットが欲しいです。

→男女共に脱衣所の足ふきマットを倍の4枚にして対応しました。

○貴重品ロッカーのようなものがあるとよい。

→脱衣所と、211、311には鍵付きロッカーがありますが、それ以外では身につけておいていただくか、宿泊室の鍵をお渡しすることで対応していただいています。

○体育館下のトイレをきれいにしてほしい。

→古い建物ですが、便器はすべて洋式水洗にしています。また、定期的に掃除を行い、清潔に保っています。

○利用時の荷物の運搬を考えていただきたい。

→現在は安全管理上、東門を施錠しています。ただし荷物の運搬については、車の乗り入れ可とし、運搬が終わったら駐車場に置き直していただくようにしています。

○和室に机があると嬉しい。

→座机を置いて対応しました。

○部屋を消灯したときに真っ暗になるので小さな灯りがあると、トイレに行くときに足元が安全になると思いました。

→宿泊室全室に明暗センサーの付いた足元灯を設置しました。

○遠回りでも良いので一部屋外のバリアフリー化を進めてほしいです。

→野外炊事場やキャンプファイヤー場へは、車椅子で行くことができないため、車で東門から入っていただくという対応にしています。野外トイレ、体育館については今後の課題です。

○エレベーターが狭く、車いすが何台もになるとかなり待つ。

→車椅子は大きさにもよりますが最大2台が限界です。ハード面を変えるのは難しく、  
ご不便をおかけします。

○冬期の自販機に温かい飲み物が欲しかったです。

→所内には自動販売機が3箇所あります。この中のクラフト棟前の自動販売機には、温  
かい飲み物が入っています。しかしメイン棟の中の商品についても、冬期は温かいも  
のを入れてもらえるよう、業者に要望します。

○208号室に宿泊。喫煙スペースへの階段出入り口の横に位置するため、夜間の出入り

や、喫煙スペースでの会話が気になる人がいるかもしれない。

→安全管理上、22時（消灯時間）以降の解錠をしないよう、お願いを掲示しました。

○普段は土曜日が仕事の為子どもを連れてきてやる事が出来ません。今回はようやく休

みが合い初めての参加です。日曜日の活動があるとありがたいです。

→今年度のマンスリーはすでに日程が決まっておりますが、今後は日曜日の主催事業実

施を検討してまいります。

○ホームページ等にバスタオルやその他ないものを書いていただけるとありがたいです。

→利用の手引きに記載しました。

○一般予約でお伺いしましたが、暖かく受け入れていただき、気持ちよく過ごしやすいかっ

たです。予約に関するシステムは難しさとおっつきにくさを感じました。他のプログラ

ムとの兼ね合いや、研修施設と思えば仕方ないのかな…?とも思っています。他のキャ

ンプ場を予約する時の3倍~4倍くらい時間がかかりました。

→利用してくださる方にとって、より使いやすくするための予約の方法について検討

し、入力内容を変更しました。また、入力方法も見直し、日付や時刻を選択式にしま

した。

○国立吉備青少年自然の家と較べると「車ですべての活動場所に行く」ということができ

ないのが残念。浴室が22時終了は学校を受け入れる施設として、どうかと思います。

→利用している児童生徒に危険がないよう、車の乗り入れを限定的にさせていただいて

います。ご理解をお願いします。また、引率者の浴室の利用は23時まで延長させて

いただきました。

○アナフィラキシー既往があったら、アレルギー食品が入っていない献立でも提供しないのは行きすぎた対応に思えます。個別にアレルギーの状況は様々なので柔軟に対応していただきたいです。

→アナフィラキシーショックの既往がある方は、食事の中にアレルギー物質が混入している場合、取り返しのつかない状況になることがあります。自然の家で提供している食事は、自然の家の厨房で作っている他、委託業者の本社工場で下ごしらえをしたものを自然の家で調理しているものもあります。本社工場では自然の家のみならず、地域の企業向けのお弁当や仕出しなどを製造しているため、混入する可能性を0にすることが出来ません。そのため、アナフィラキシーの既往がある方については、ご飯とお茶の提供のみとさせていただいております。ご不便をおかけいたしますが、趣旨をご理解いただければ幸いです。